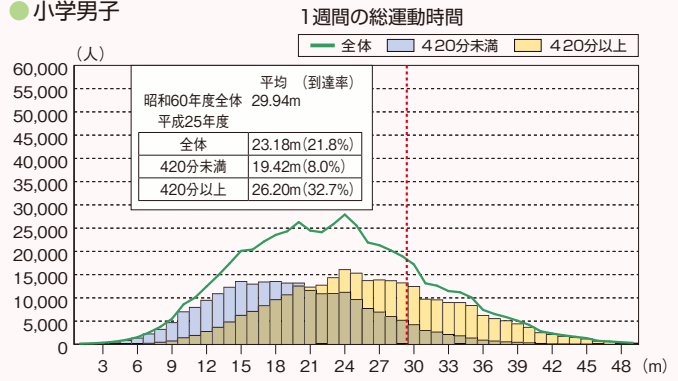


●小学男子

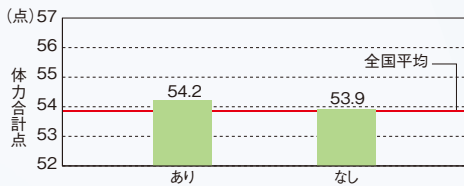


ボール投げは、小学男子の80%が昭和60年度水準を下回っている (35ページ)

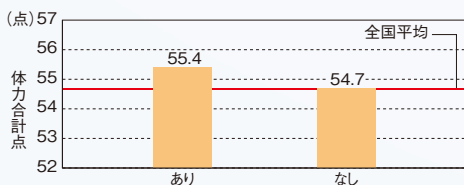
※グラフ中の縦の赤線は昭和60年度の平均値

本調査結果のうち 各地域・学校にお 体育・健康に関する 特に参考としてい

●小学男子

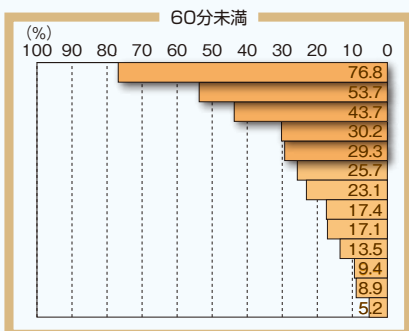


●小学女子



体育専科教員を活用している小学校の
体力合計点の状況 (97ページ)

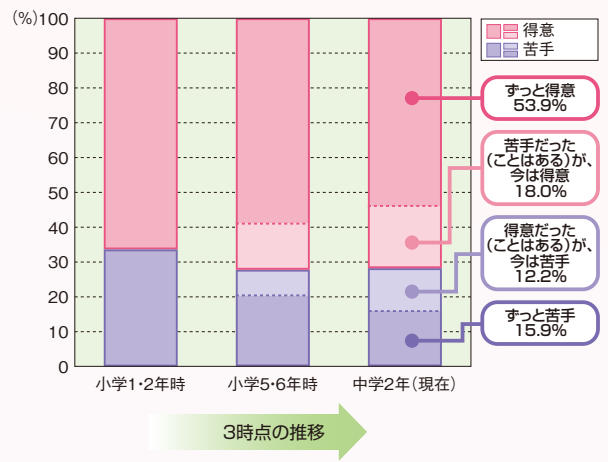
●中学女子



好き・できそうな種目があれば
友達と一緒にできたら
自分のペースで運動ができた
自由な時間があれば
体型の変化に効果があるなら
友達から誘われたら
自由に使える場所があれば
一人でもできるものがあれば
自分の健康が不安になったら
有名選手に教えてもらえたら
家族と一緒にできたら
授業で丁寧に教えてもらえたら
先生や家族から勧められたら

児童生徒が「もっと運動やスポーツをしてみようと思う」
ための条件 (36・37ページ、72・73ページ)

●中学男子



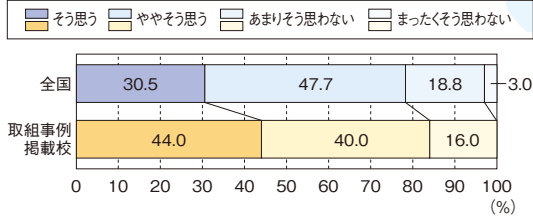
運動やスポーツに対する意識の小学1・2年時から
中学2年 (現在) への推移として、中学男子の
20%が小学生時「苦手だった」から
「今は得意」に変化している (74ページ)

● 中学女子

1週間の総運動時間の平均と60分未満の生徒の割合

	全国	取組事例掲載校
1週間の総運動時間(分)	610.3	829.6
60分未満の割合(%)	29.9	4.0

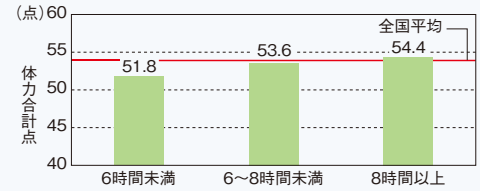
教え合ったり、助け合ったりして学習を進める



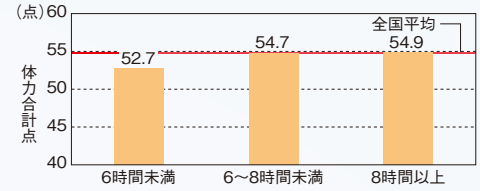
中学女子の30%は1週間の総運動時間が60分未満であるが、学校の取組等から総運動時間が60分以上の割合が9割以上の学校もみられる（第7章）

睡眠時間別の体力合計点の状況

● 小学男子

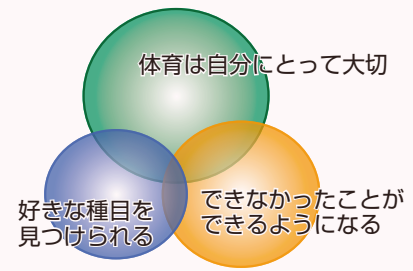


● 小学女子



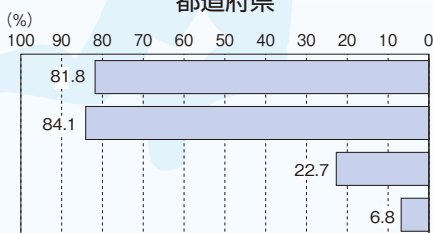
適切な生活習慣は体力向上の基盤となる
(25ページ、61ページ)

ける る指導の改善において ただきたいポイント

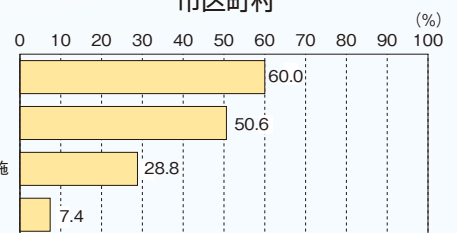


「体育の授業が楽しくなった」変化のきっかけとなる事項で、児童生徒の回答割合の高いもの（43ページ、79ページ）

都道府県



市区町村



教育委員会アンケートで運動・スポーツ参加促進の実施内容を探る（101ページ）